

# 令和6年度 第1回県政参画電子アンケート 「廃棄物」に関するアンケート 結果概要

## 1 調査概要

- テーマ 「廃棄物」に関するアンケート
- 実施期間 令和6年4月12日～4月30日
- 対象 県政参画電子アンケート会員 620名
- 回答数 336名(回答率 54.19%)

## 2 目的・概要

本県では、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)の規定に基づき、「鳥取県廃棄物処理計画」(※)を令和元年度に策定(計画年度:令和元年度から5年度まで)しました。

廃棄物に対する皆様の意識やご意見などを参考にさせていただき、次期計画・今後の施策等への反映のために実施いたしました。ご協力ありがとうございました。

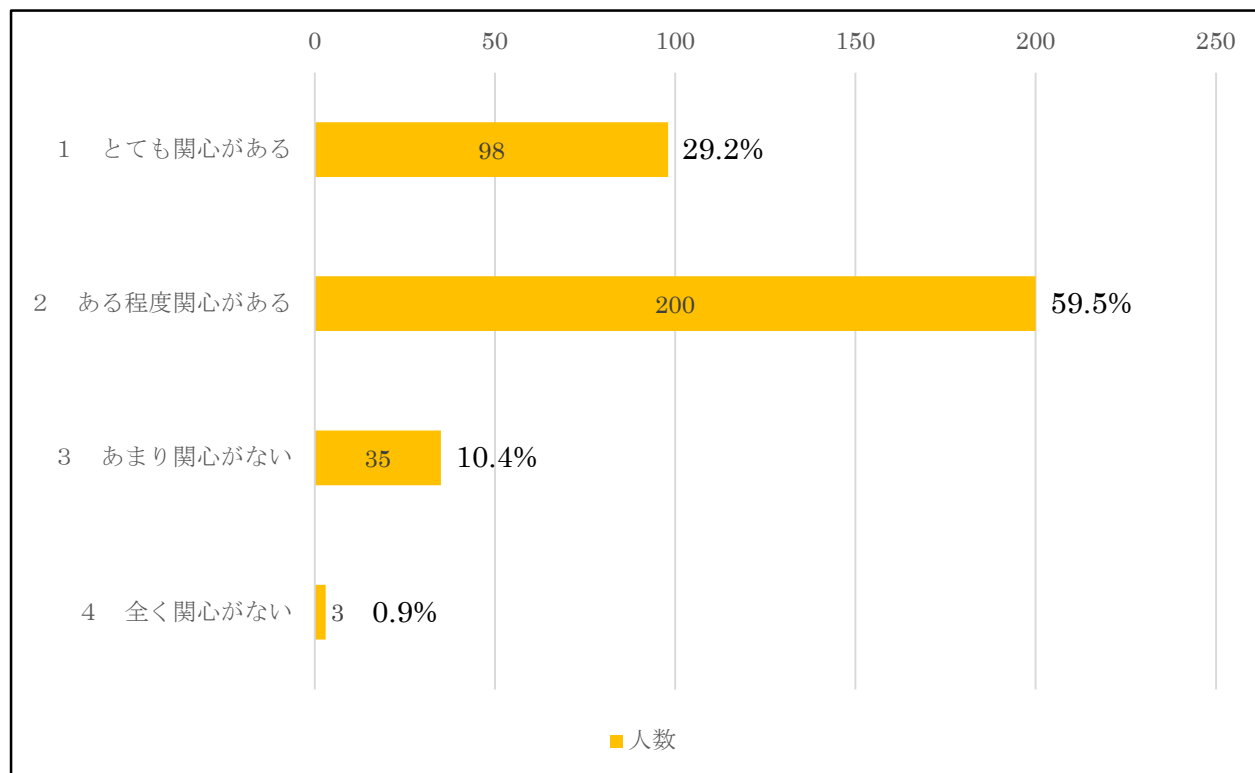
※廃棄物の発生抑制、減量、リサイクル及び適正処理を着実かつ計画的に推進するためのものであり、本県において循環型社会の実現を目指すための行動計画となるもの。

### 【参考】

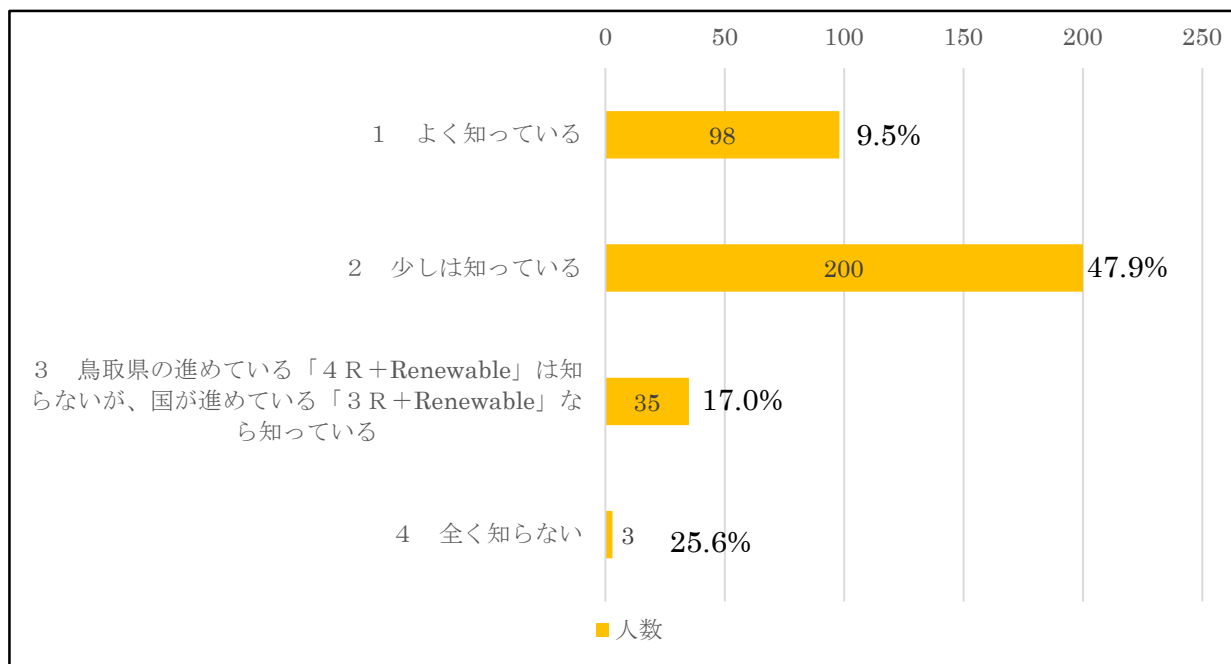
現在の廃棄物処理計画は、次のページでご覧いただけます。

<https://www.pref.tottori.lg.jp/290854.htm>

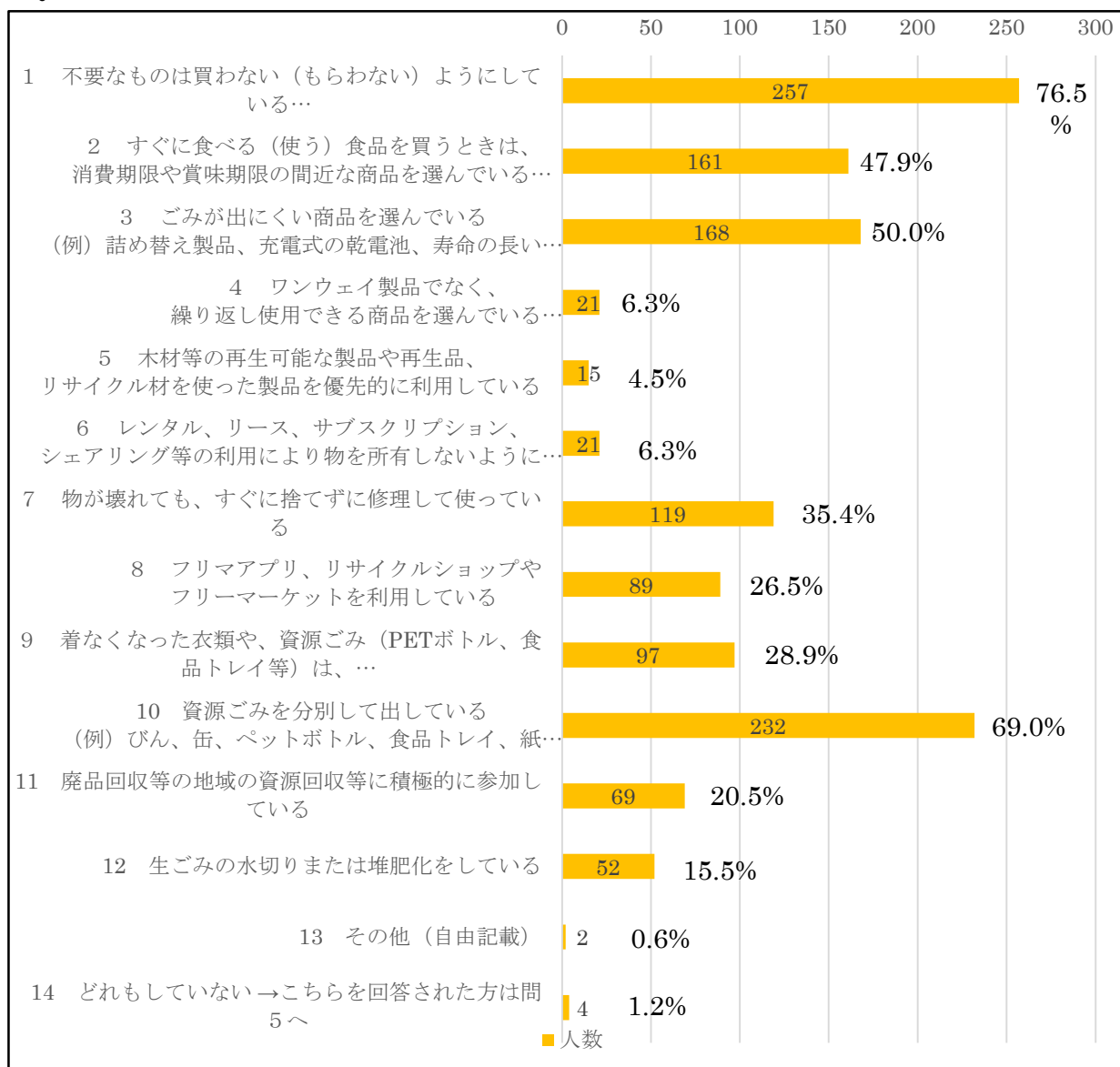
【問1】 廃棄物の処理やリサイクルについて、関心をお持ちですか。



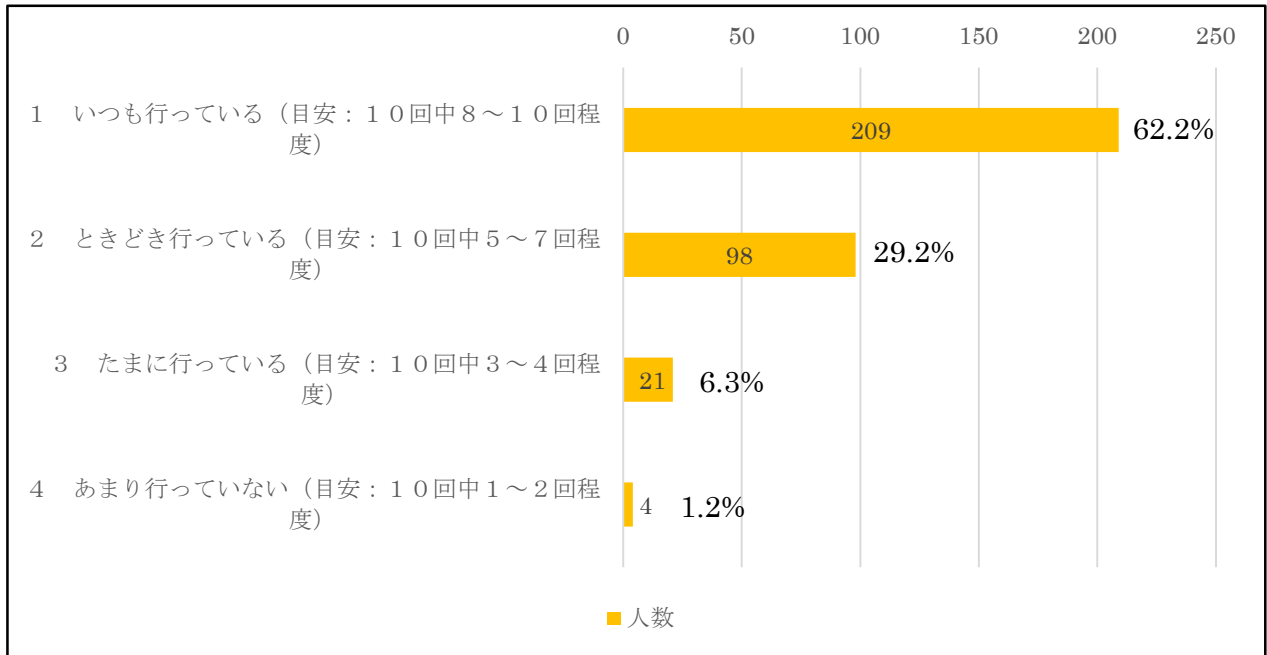
【問2】鳥取県では、廃棄物を出さない持続可能な社会の実現を目指して、「リフューズ(断る)」、「リデュース(減量化)」、「リユース(再利用)」、「リサイクル(再生利用)」の『4R』に加え『Renewable(再生資源への代替・持続可能な取組)』を推進していますが、知っていますか。



【問3】「4R+Renewable」の取組として次のようなものがありますが、あなたが行っているものはありますか。



【問4】 問3で回答した取組をどの程度行っていますか。複数回答された方は、特に割合の高い選択肢についてお答えください。



【問5】 サーキュラーエコノミー(循環経済)について知っていますか。また、サーキュラーエコノミーの経済活動に取り組んでいますか。

※サーキュラーエコノミー(循環経済)とは

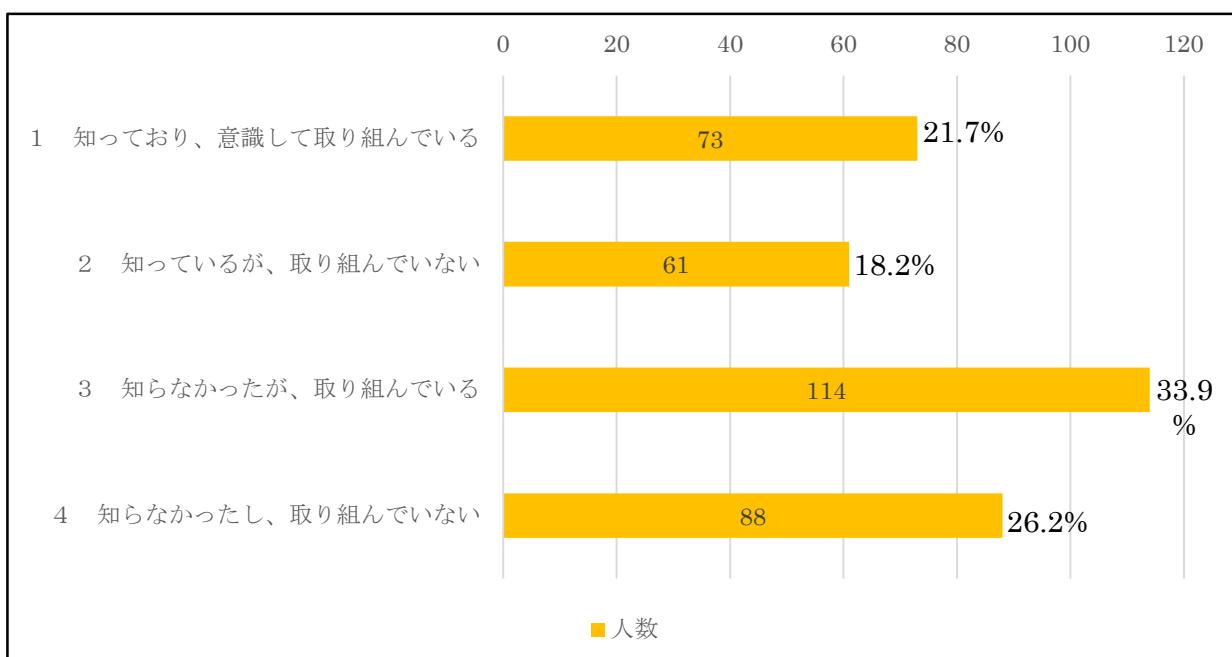
生産から廃棄までのあらゆる段階で資源の効率的・循環的な利用を図り、環境への取組を企業の収益につなげていく経済活動のこと。

(企業の経済活動の例)

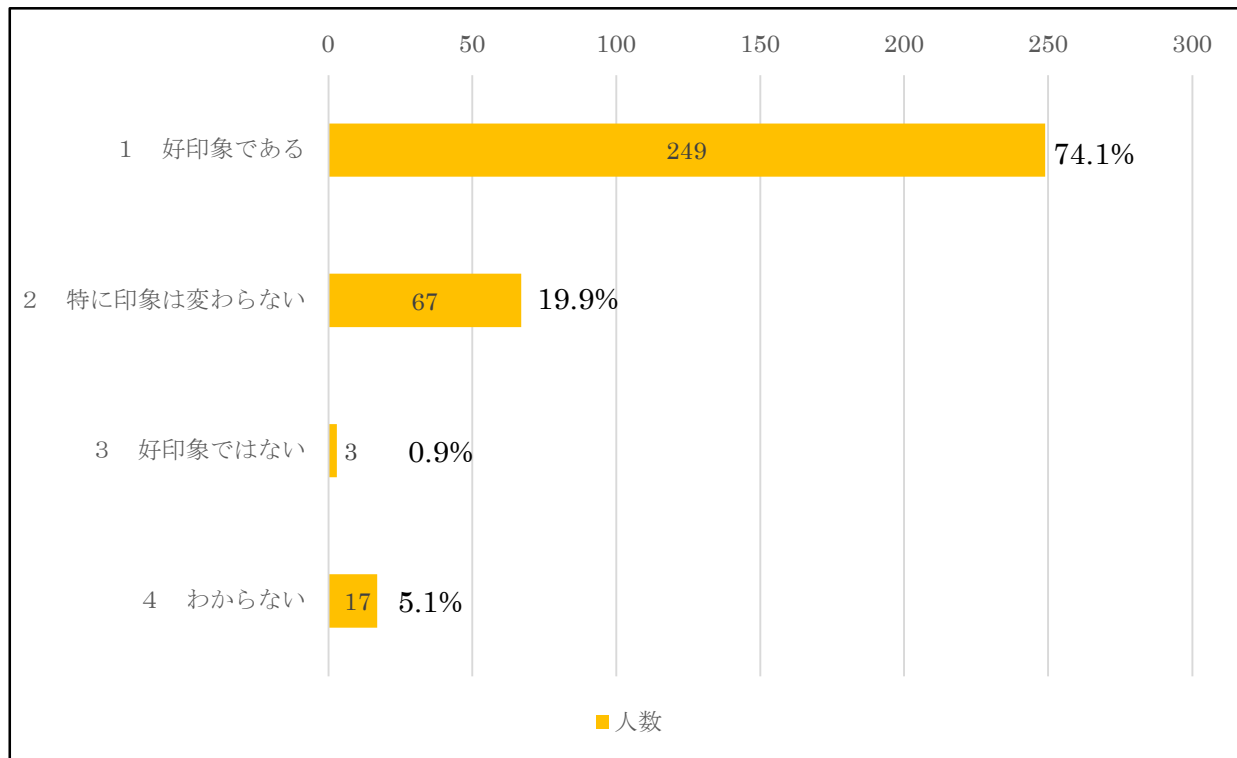
- ・ワンウェイプラスチック製品から環境配慮素材の製品に替える。
- ・着なくなった服を店頭で回収して、再び衣服にリサイクルして販売する。
- ・形崩れ等のため流通できず廃棄されていた規格外の果物野菜を原料として新たな食品を製造する。
- ・使わなくなったものをリユース品として売却したり、リサイクルして違う製品の原料にしたりする。

(個人としての経済活動の例)

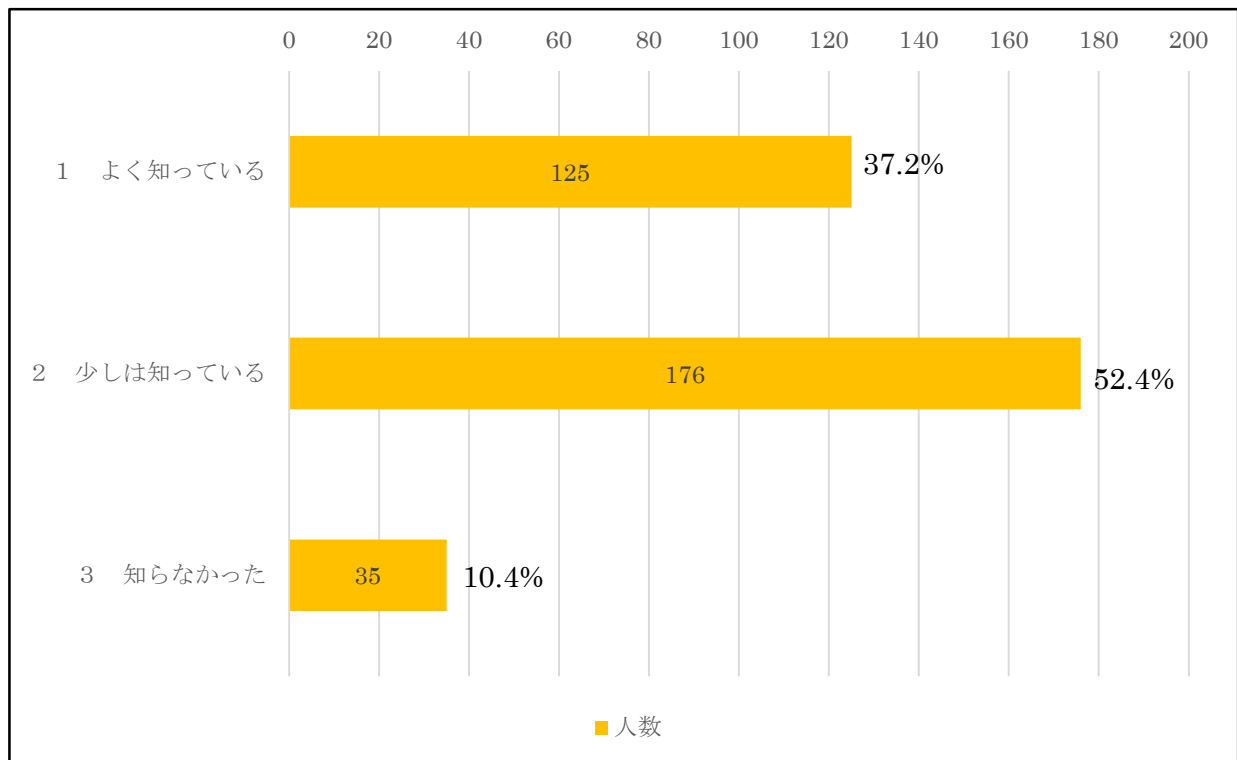
- ・上記の製品等を積極的に購入又は利用する。
- ・問3のような取組を実践する。



【問6】 サーキュラーエコノミー(循環経済)に取り組む企業に対してどのような印象を持ちますか。

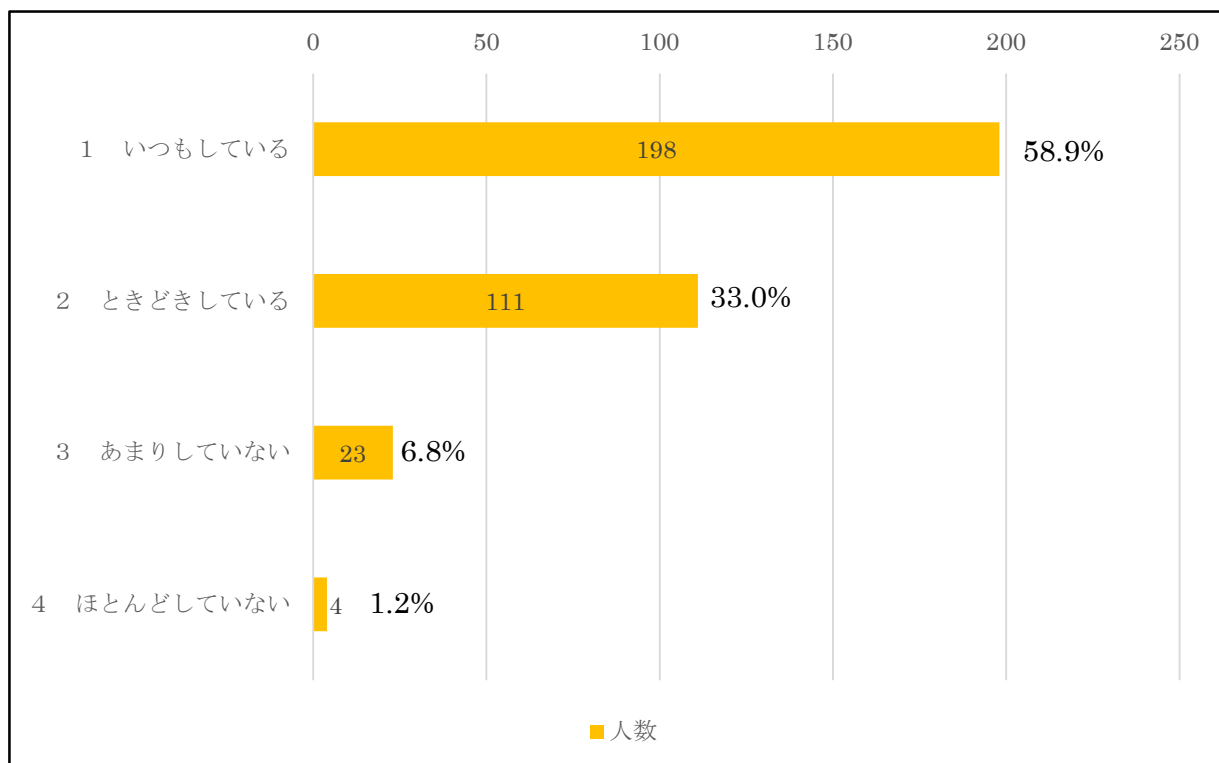


【問7】 日本では食べ残しなどの食品ロスが年間約500万トン発生しており、国民1人あたりに換算すると、毎日お茶碗1杯分捨てていることになります。こうした現状をご存じですか。

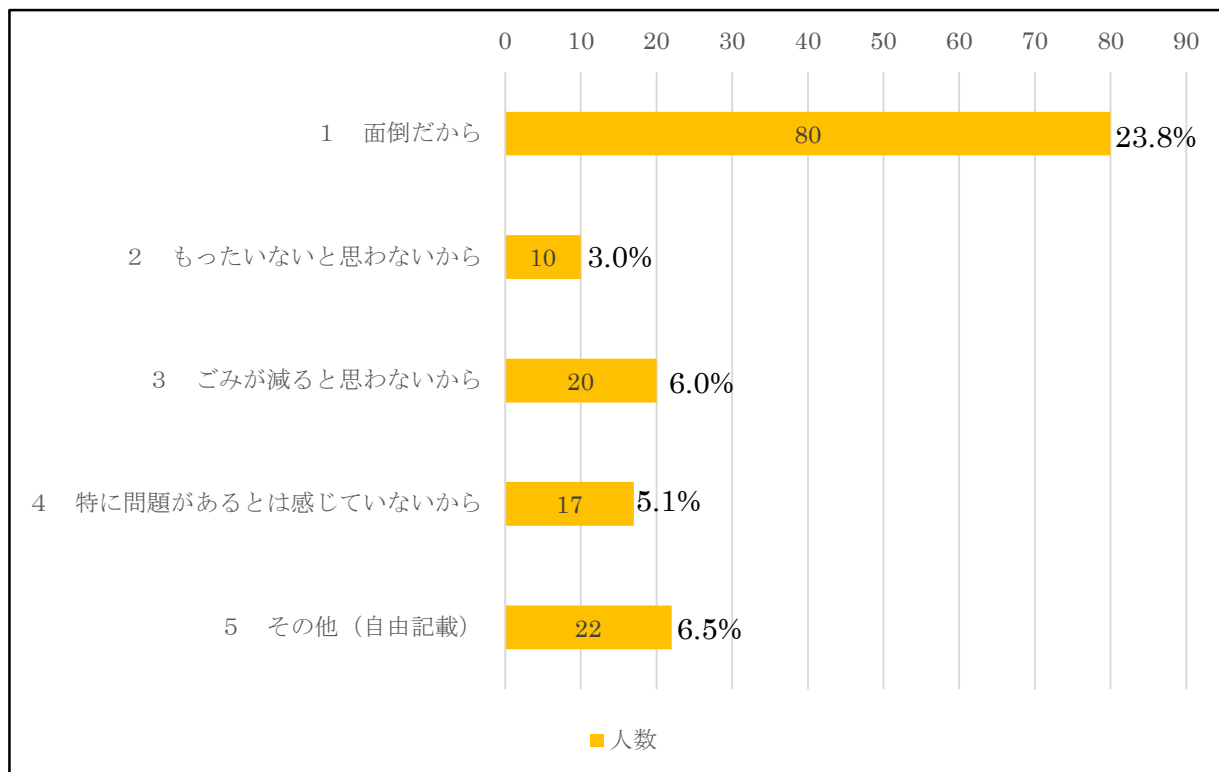


**【問8】** 家庭で、食べ残し等の食品ロス(生ごみ)が少なくなるような工夫や行動をしていますか。(例:食べきれ  
る量に合わせて調理する、野菜の茎・皮や余りものを料理に利用する など)

※「1」と回答された方は問10へ、それ以外の方は問9へ

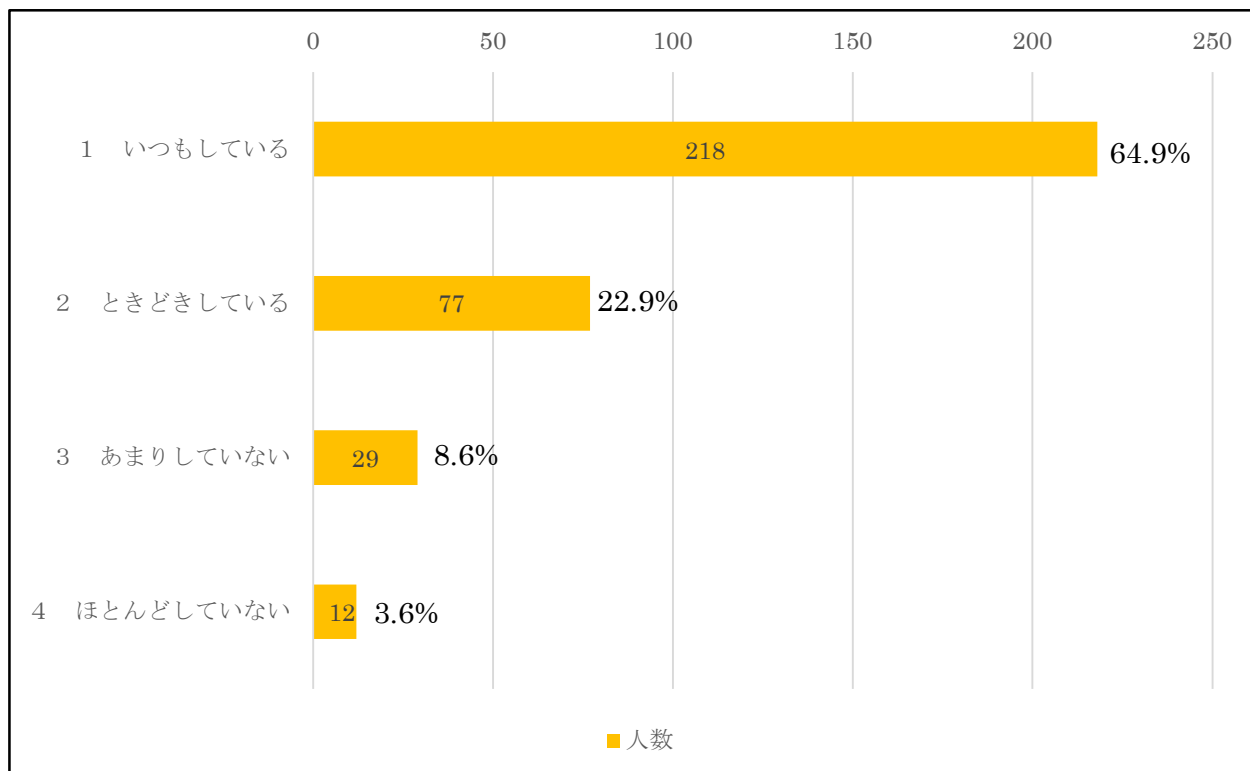


**【問9】** 問8の工夫等をしない理由は何ですか。

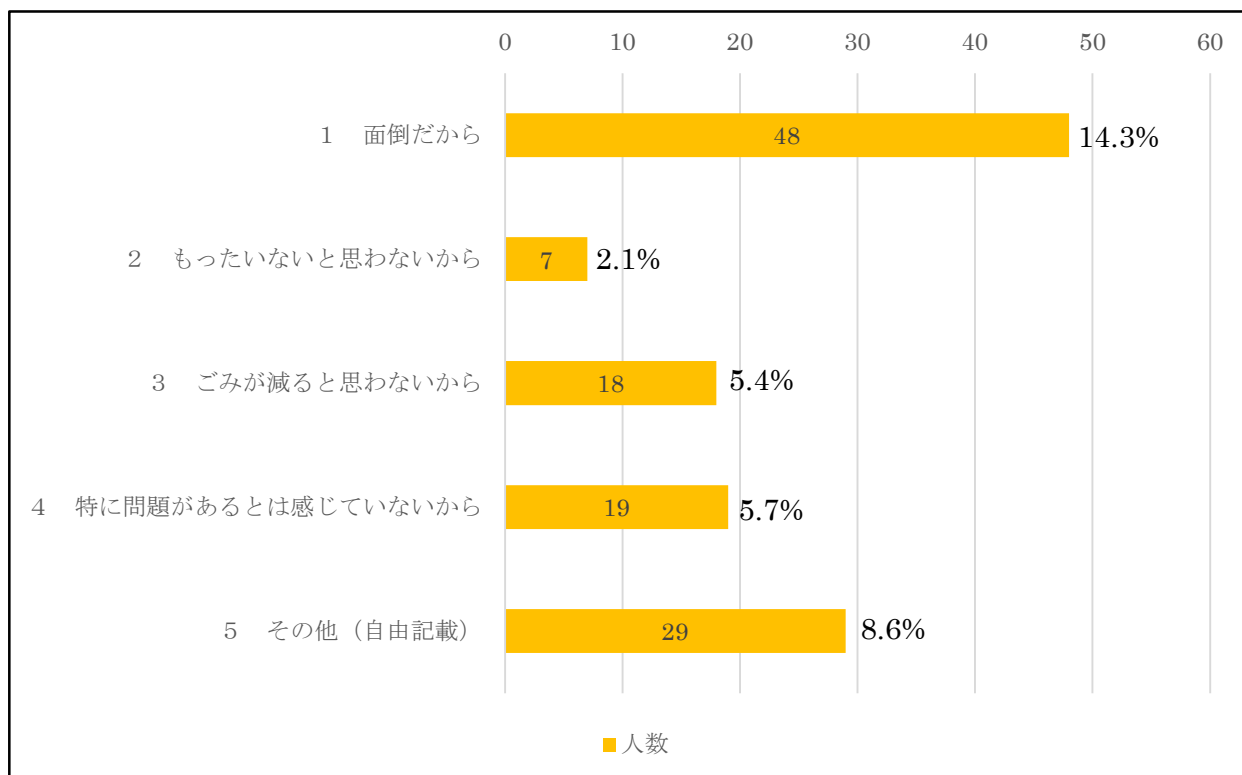


【問10】 外食時や宴会等で、食品ロス(食べ残し)が少なくなるような工夫や行動をしていますか。(例:食べきれぬ量を注文する、宴会時に参加者へ食べきりを呼びかける(3010運動)、余った料理の持ち帰り等)

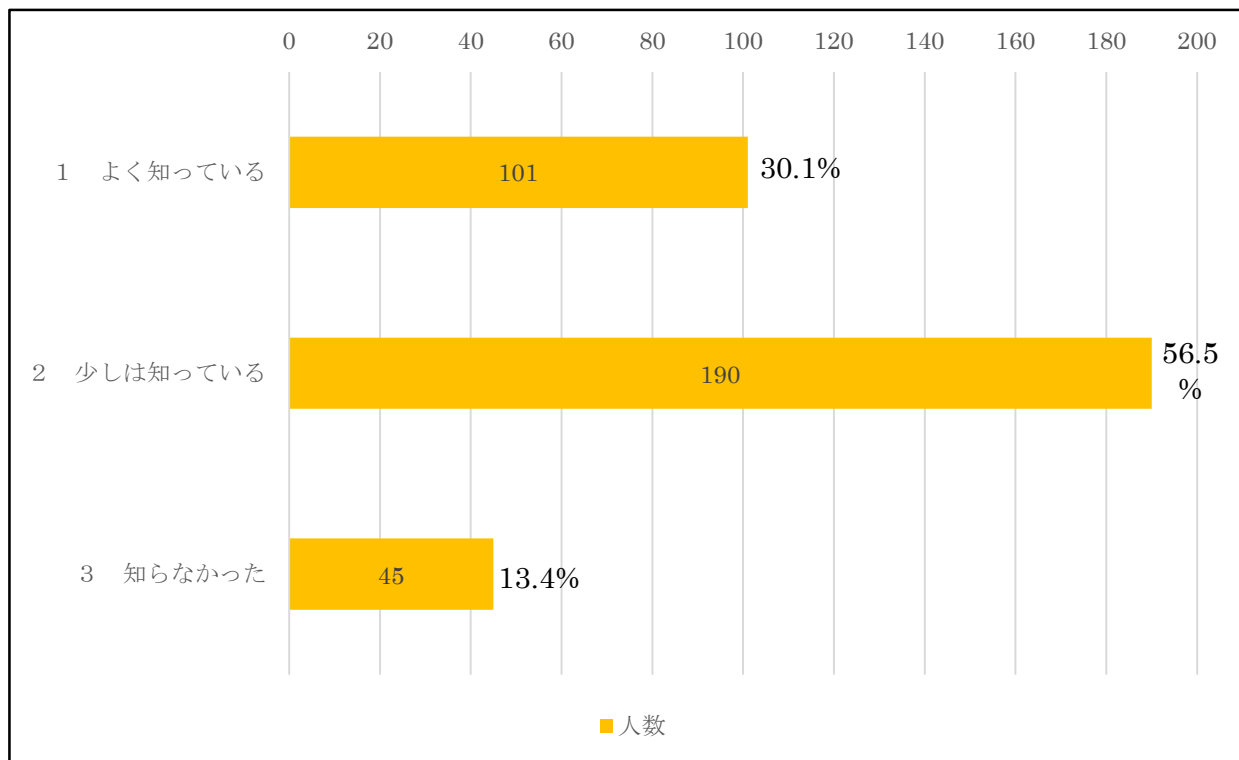
※「1」と回答された方は問12へ、それ以外の方は問11へ



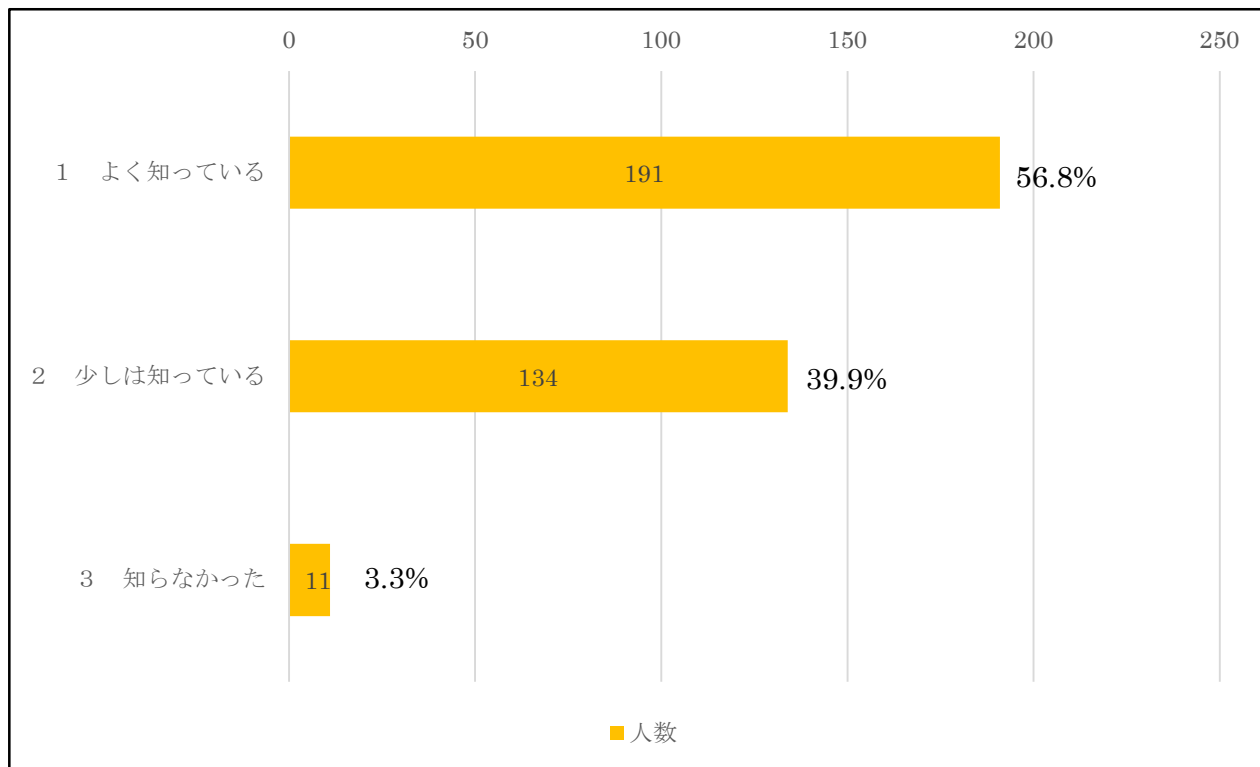
【問11】 問10の工夫等をしない理由は何ですか。



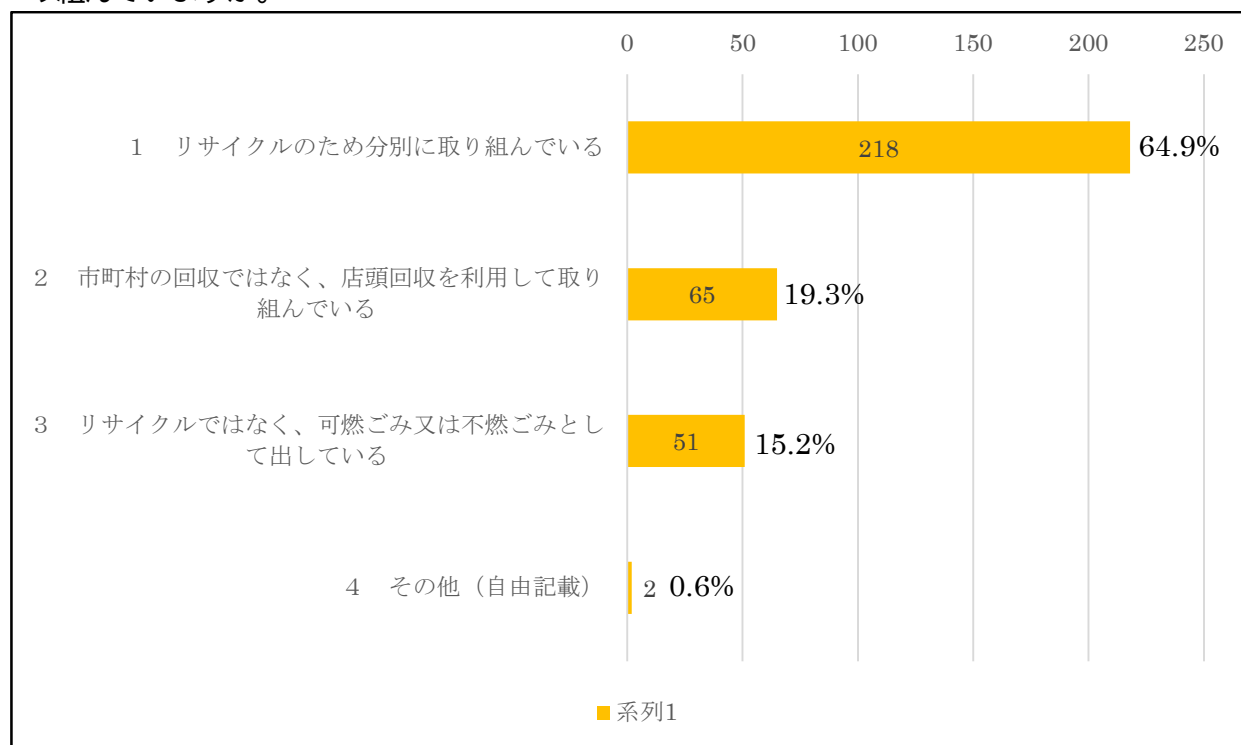
【問12】 家庭等で余った食品を必要とされる方等へ寄付する活動である「フードドライブ」やそういった取組をしている団体である「フードバンク」をご存じですか。



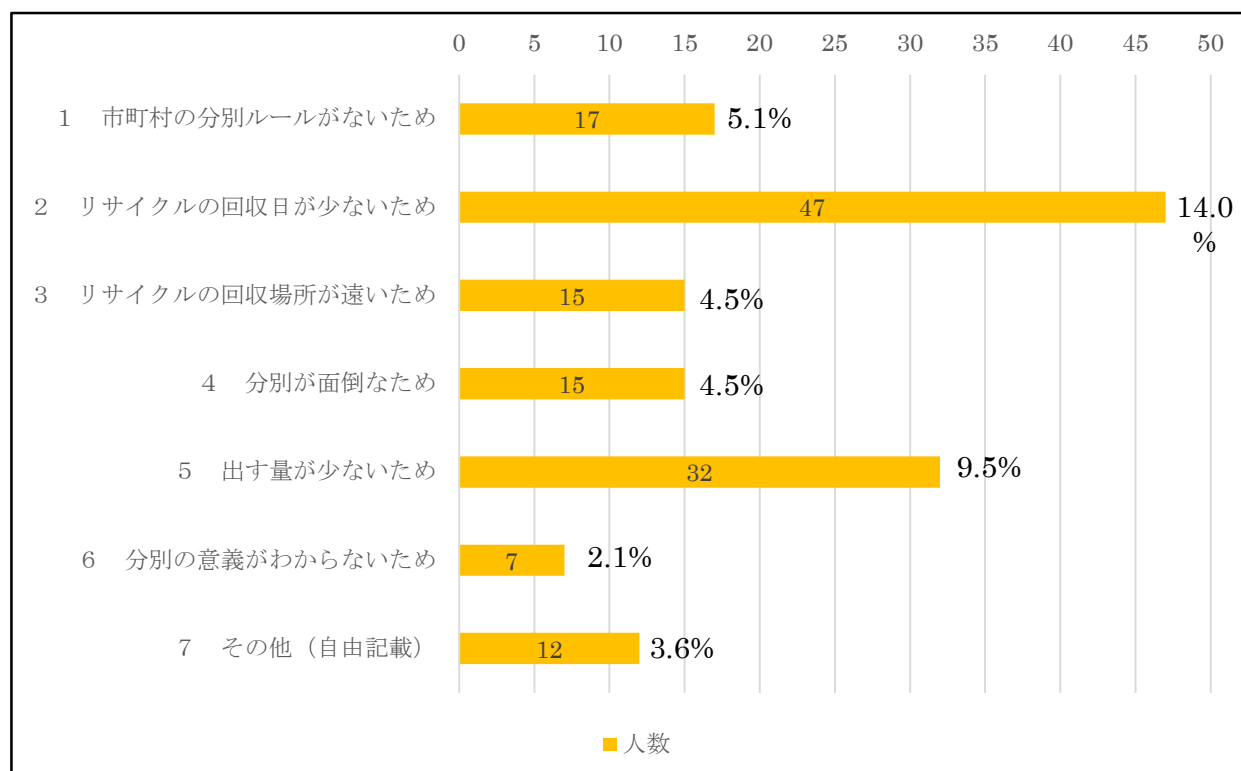
【問13】 プラスチックごみによる海洋環境汚染の問題をご存じですか。



【問14】 プラスチックのリサイクルのため、食品トレイ(有色)やプラ製食品パッケージ、プラ製品等の分別に取り組んでいますか。



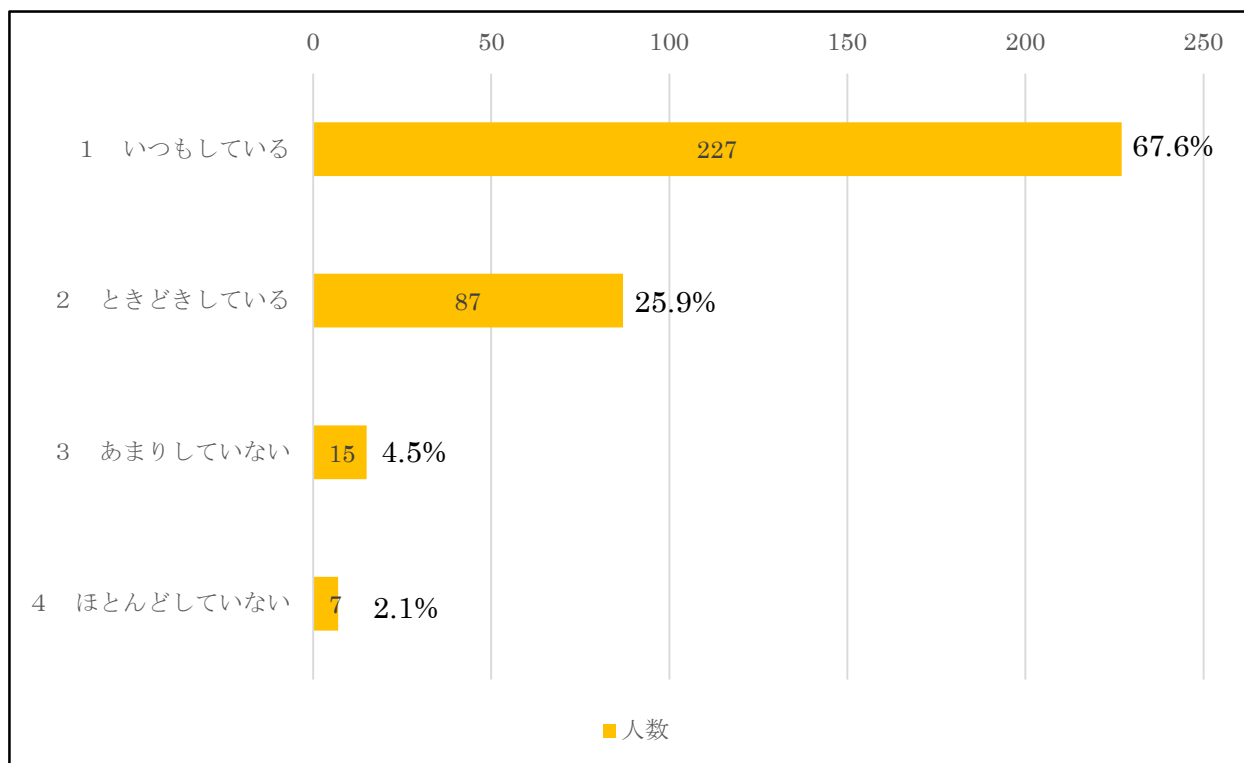
【問15】 問14で2～3と答えた方に、その理由をお尋ねします。



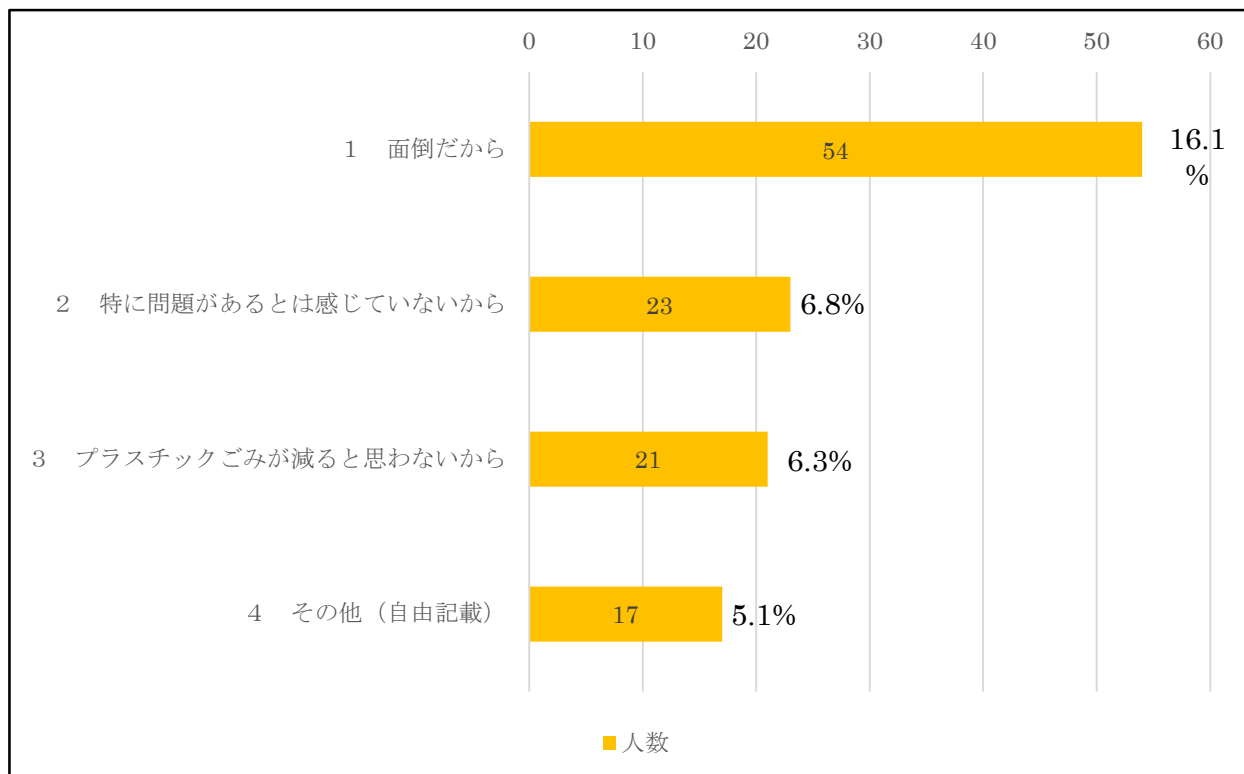


【問16】 家庭で、プラスチックごみが少なくなるような工夫や行動をしていますか。(例:分別の徹底、マイバツグ・マイボトル利用、簡易包装や詰め替え商品の購入等)

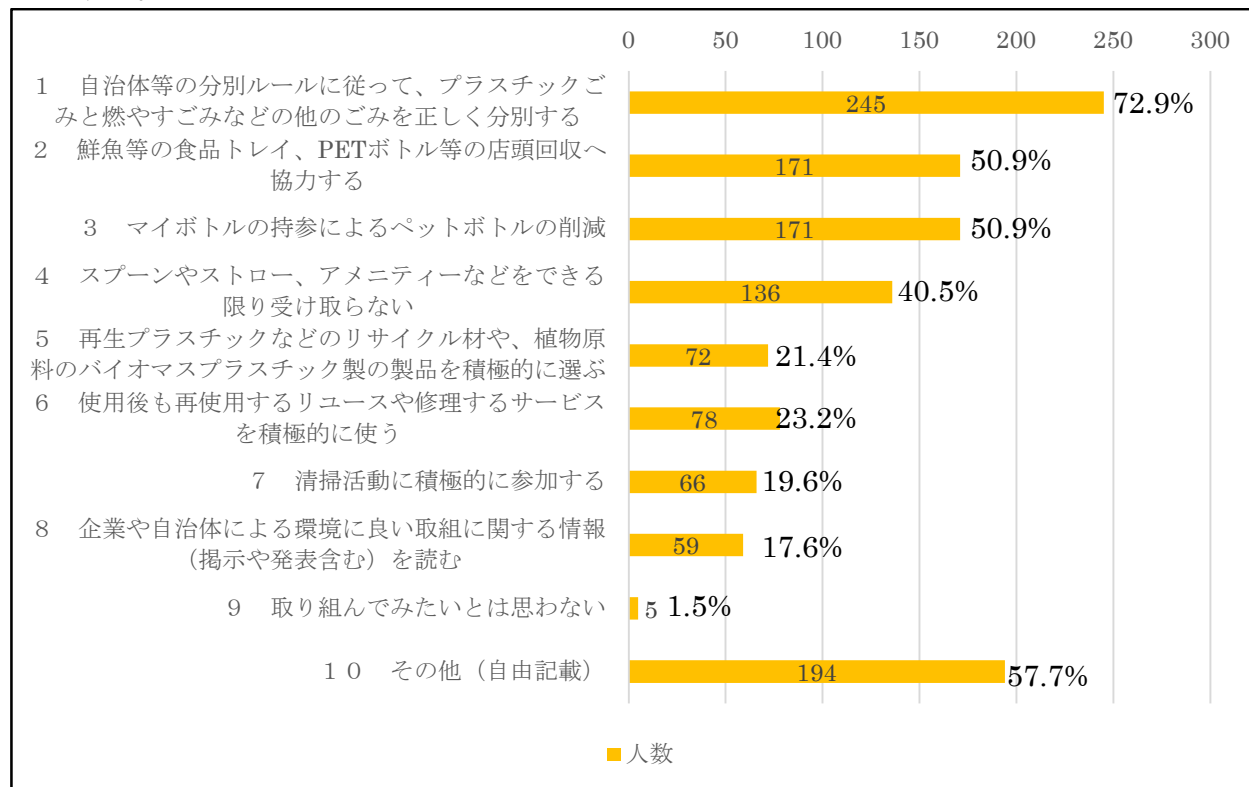
※「1」と回答された方は問18へ、それ以外の方は問17へ



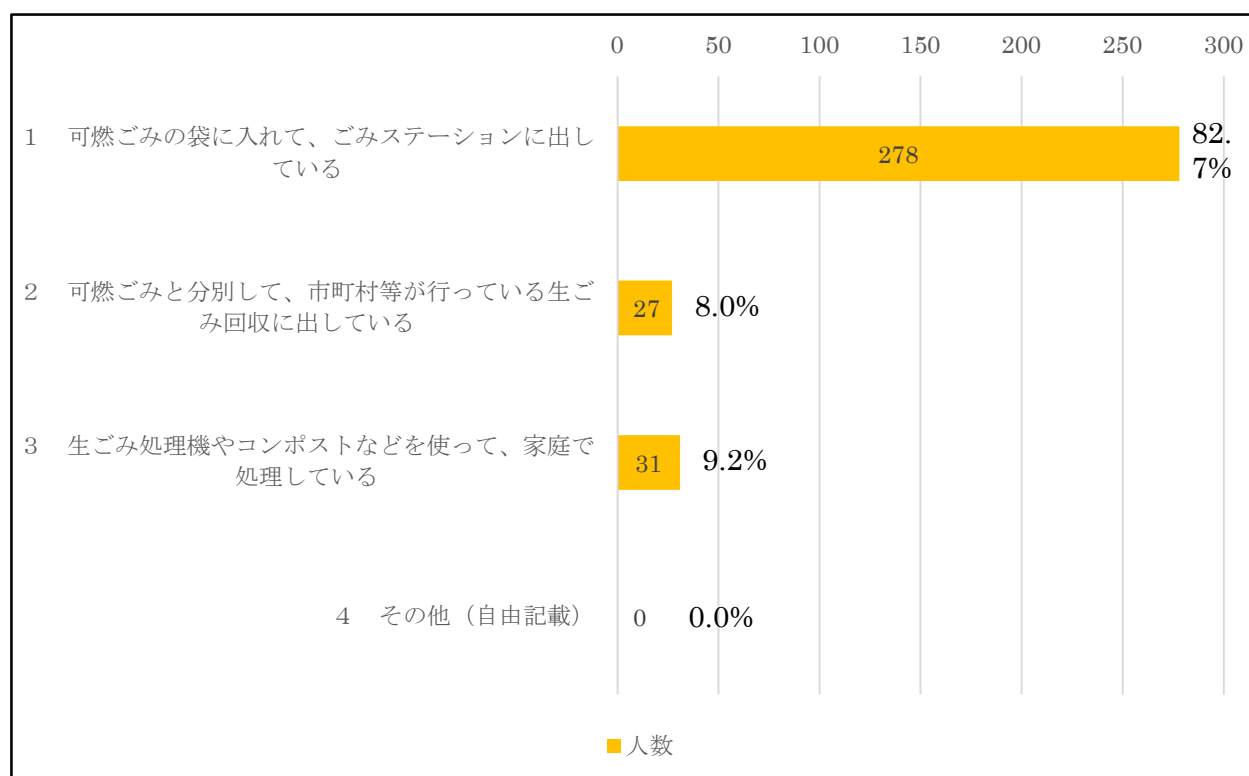
【問17】 問16の工夫等をしない理由は何ですか。



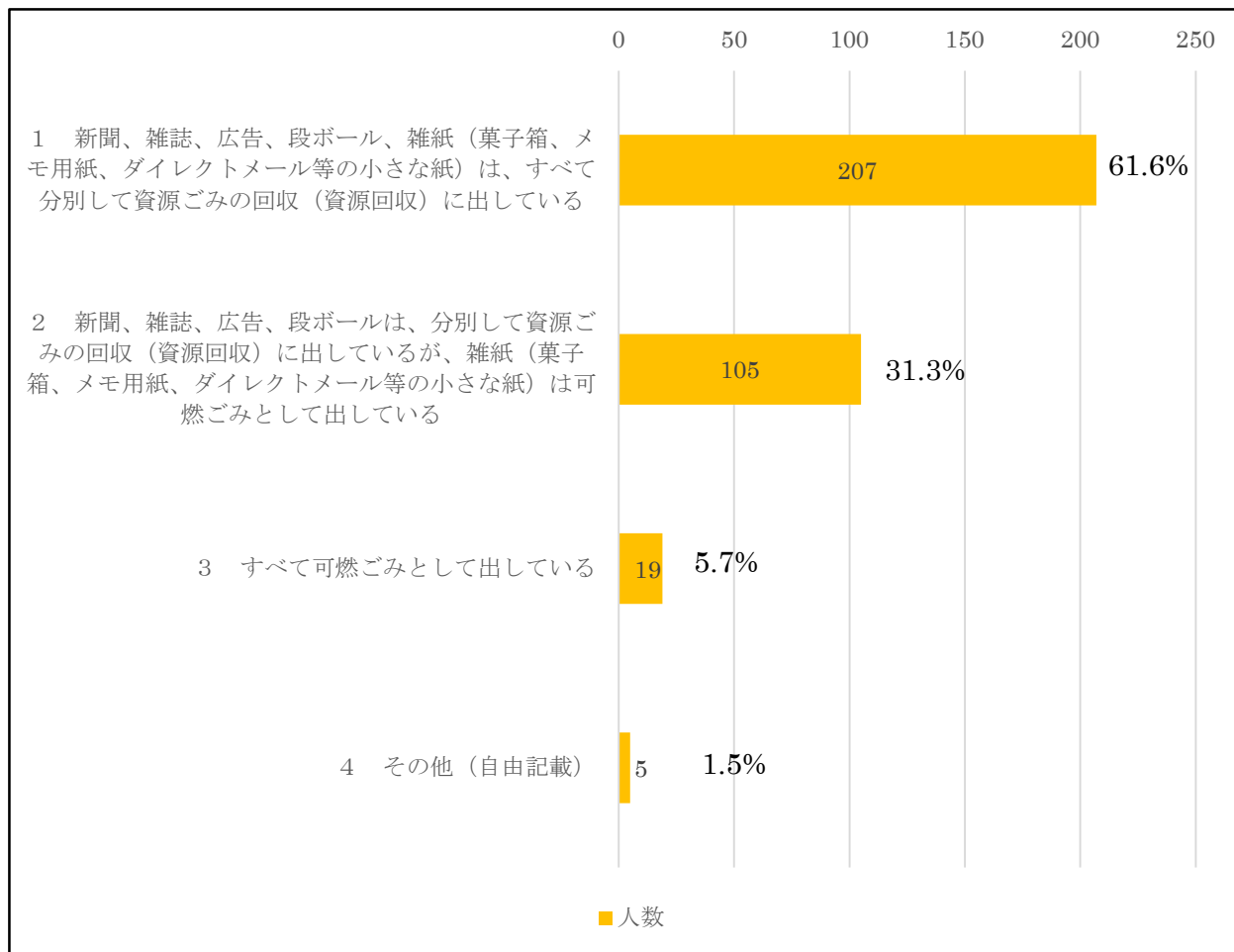
【問18】プラスチックごみ問題解決に向け、ご自身の取組として、今後どのようなことに取り組んでいきたいですか。



【問19】家庭から出る生ごみの処理についてお尋ねします。生ごみをどう処理されていますか。

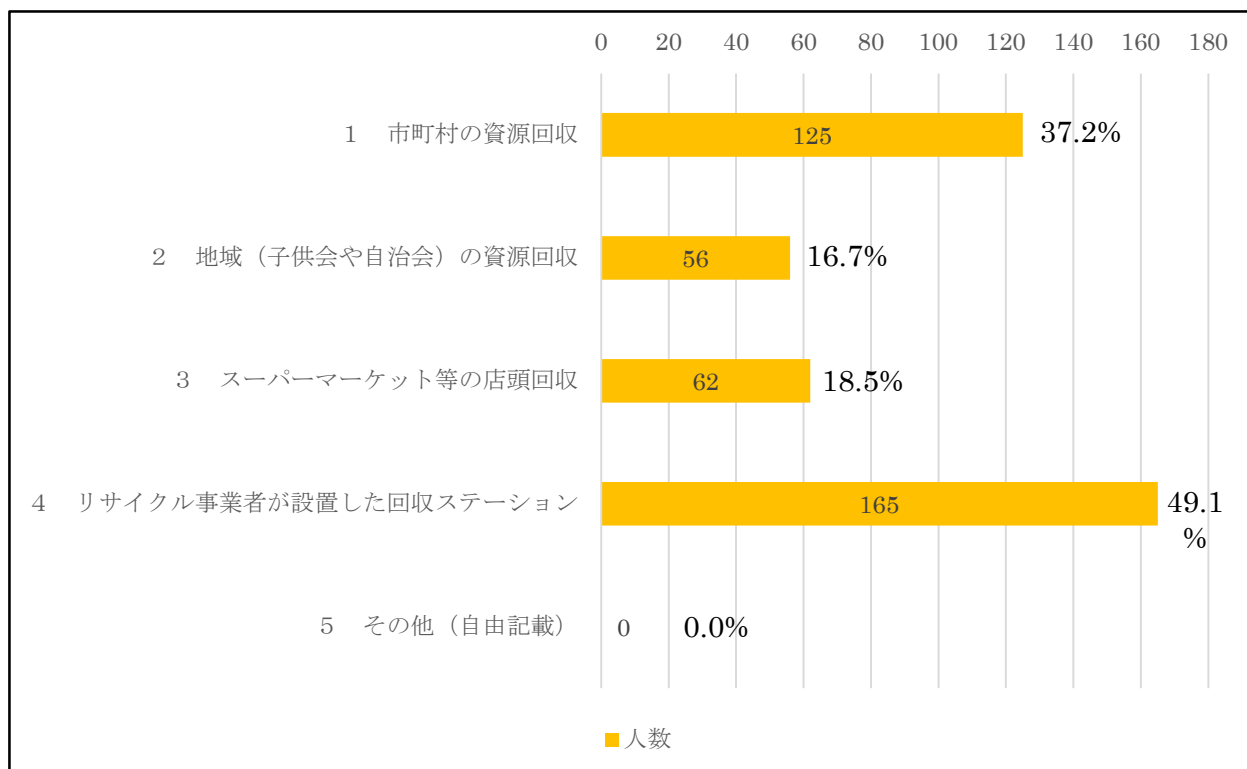


【問 20】 家庭から出る紙ごみについてお尋ねします。紙ごみをどう処理されていますか。

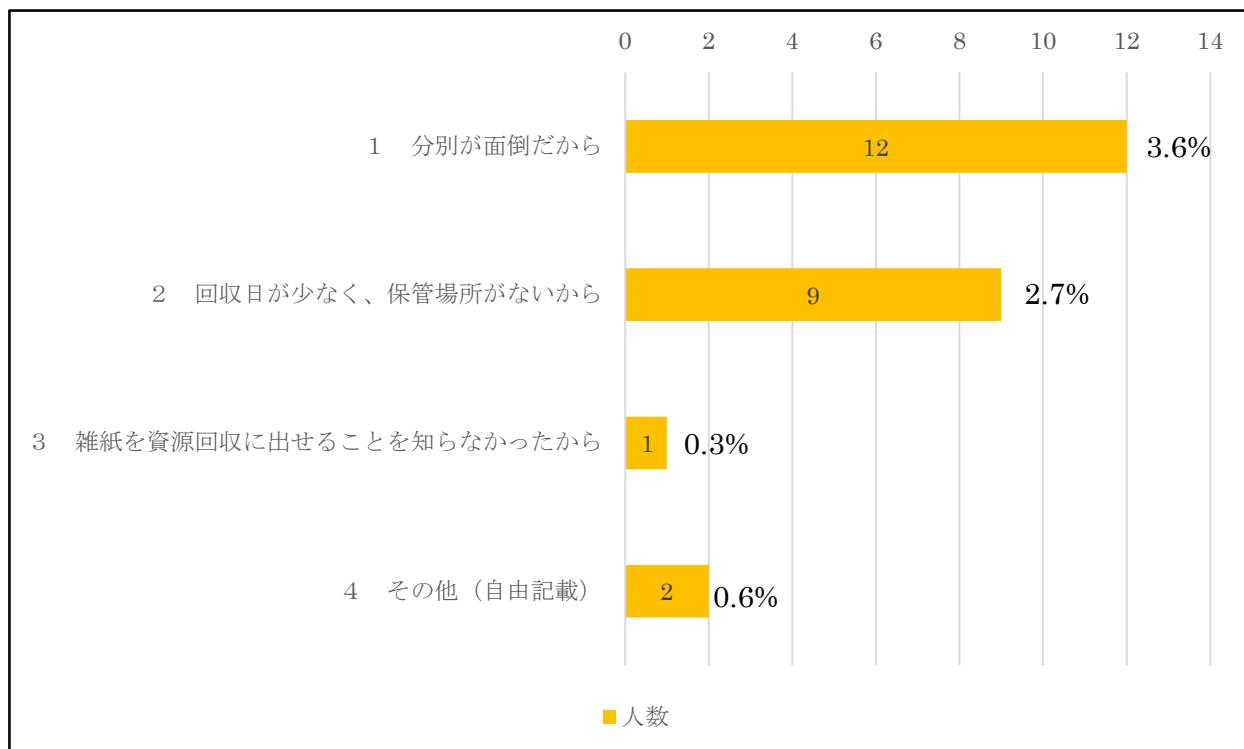


【問 21】 紙ごみの資源回収として、よく利用するものは次のうち、どれですか。

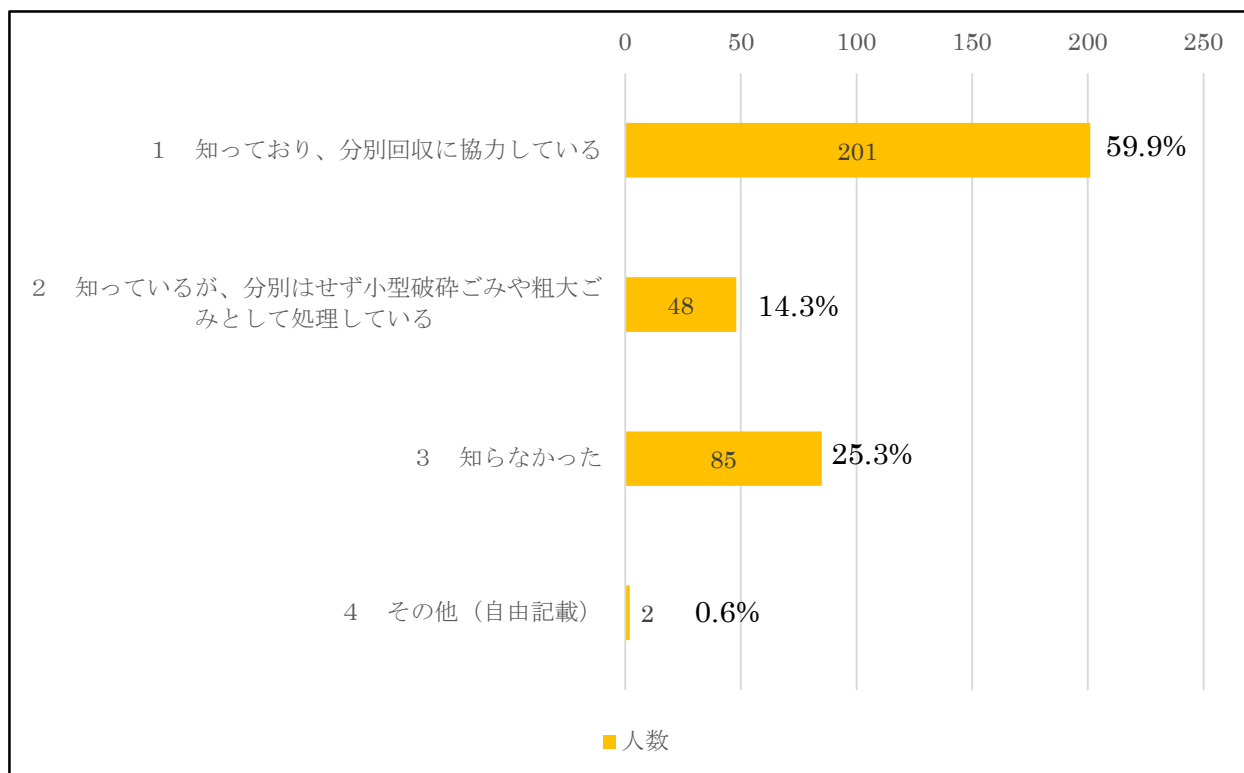
※選択後、問 23 へおすすみください



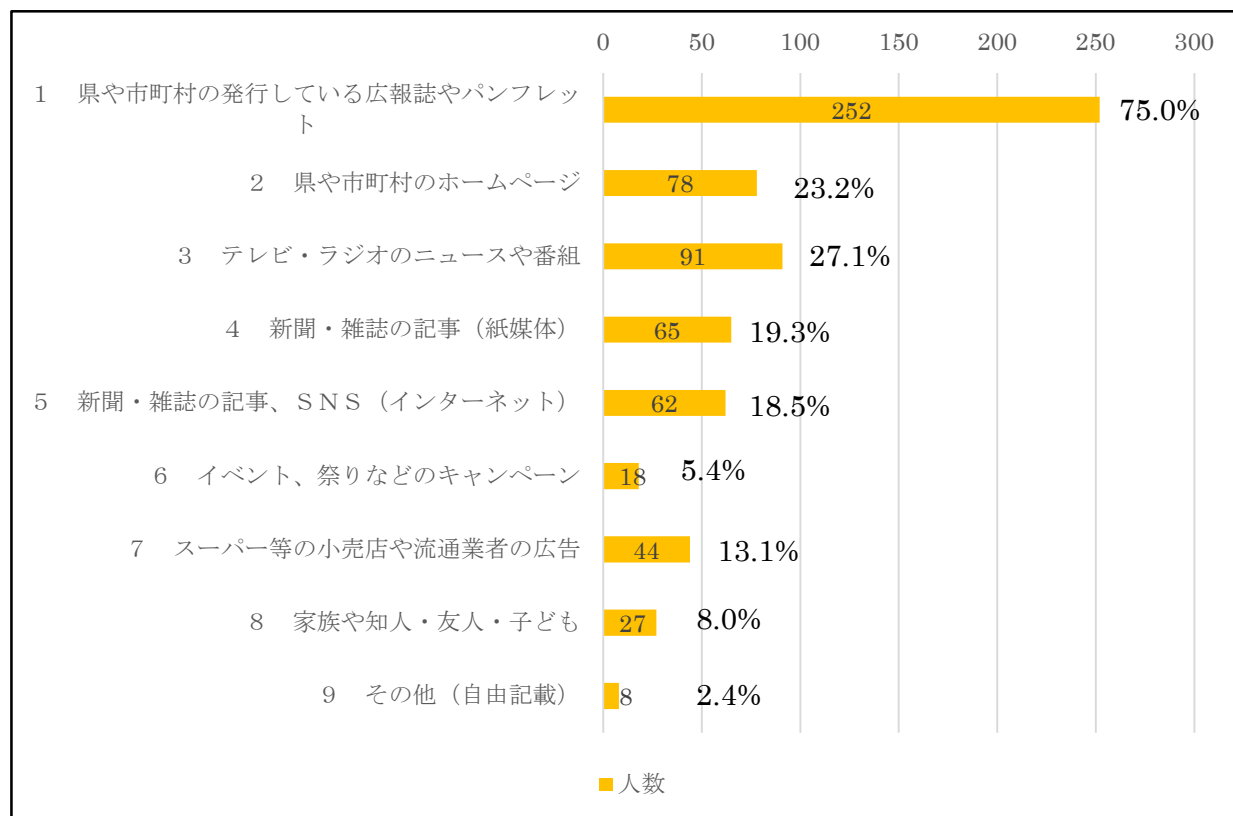
【問 22】 紙ごみを可燃ごみとして出している理由は何ですか。



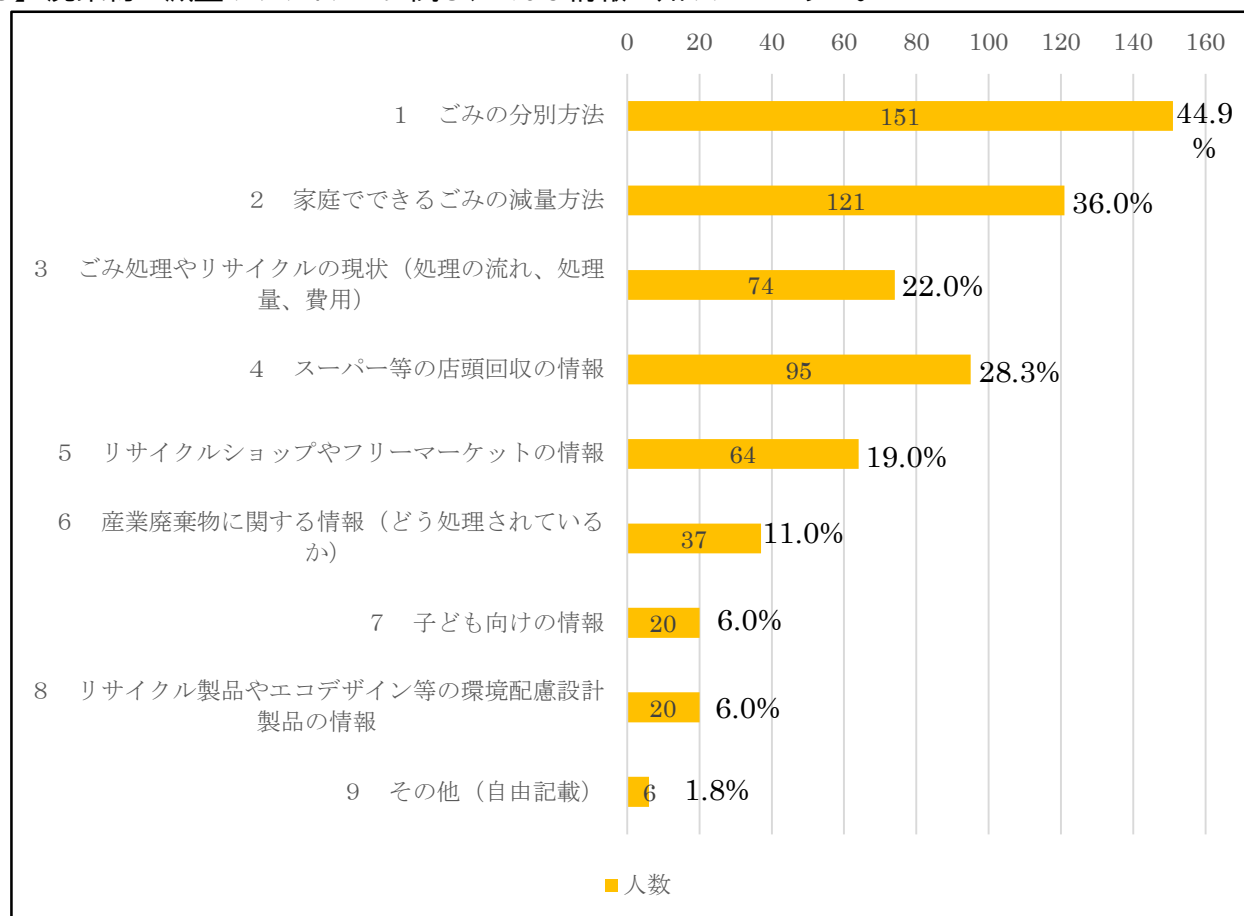
【問 23】 家庭から出る使用済みの小型家電(携帯電話、デジカメ、掃除機など)についてお尋ねします。近年、ごみステーションや市役所等の公共施設などで使用済み小型家電の回収が行われていますが、こうした取組をご存じですか。



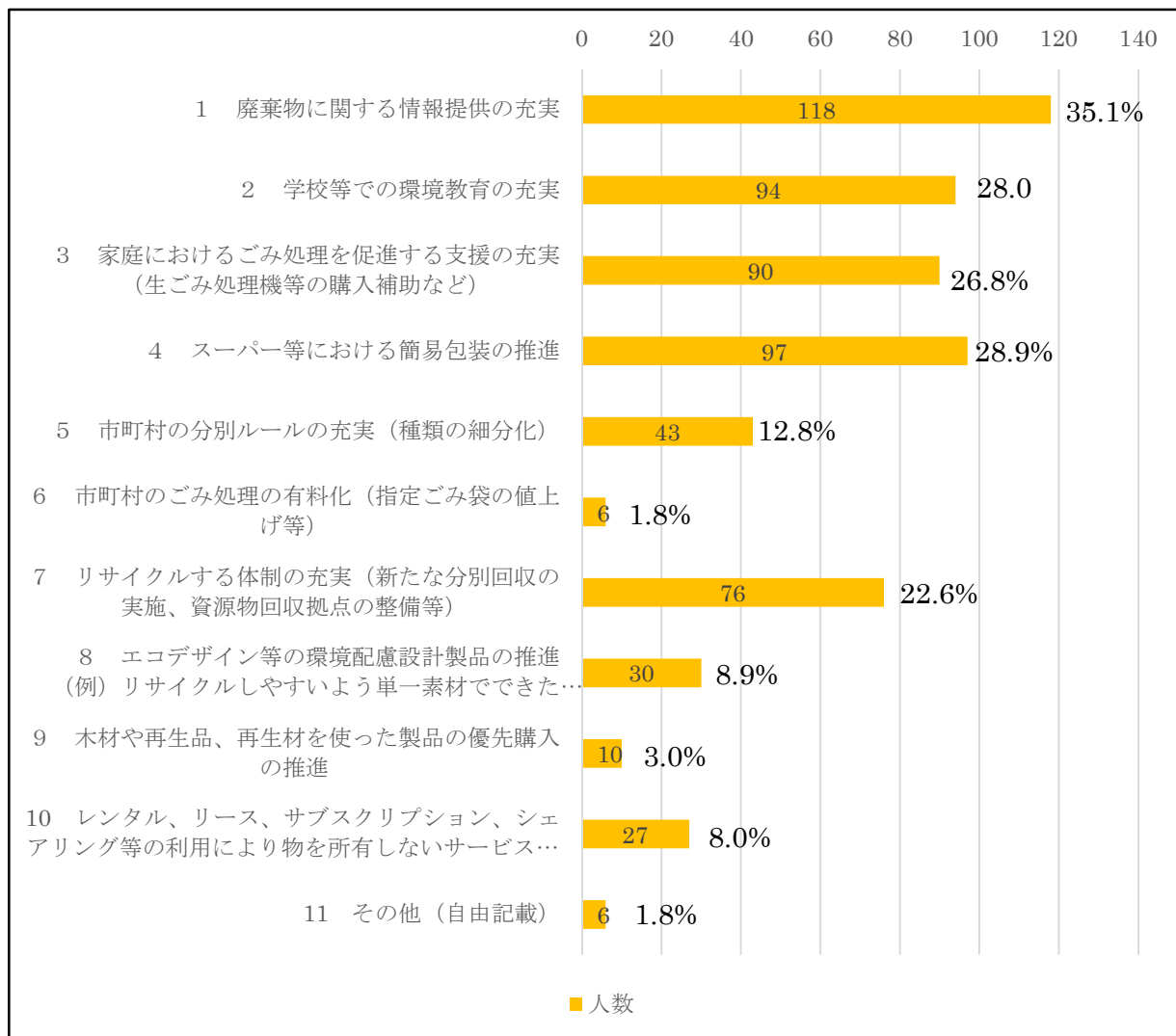
【問 24】 普段の生活の中で、ごみの減量・リサイクルに向けた取組の情報を、どこで入手していますか。



【問 25】 廃棄物の減量やリサイクルに関し、どんな情報が知りたいですか。



【問26】 廃棄物の減量やリサイクルを推進するために、今後、特に力を入れるべきだと思うものは何ですか。



【問27】 廃棄物の発生抑制、減量、リサイクル及び適正処理の推進についてのご意見をご記入ください。

※自由記載のため省略